

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
公正な事業慣行	□	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001環境マネジメント規格を取得した。その後、自主管理により更に精度を高めマネジメント管理している。			3.9			6	7						12	13.3	14	15	
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・メーカーとともにHP等で環境情報公開に努めている。													12.6				
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光、バイオマス発電等クリーン電力使用に努め、東御市にてバイオマス発電所事業への投資と稼働を行っている。水素社会の実現に向けて、長野県企業局と燃料電子自動車の普及啓発に関する協定を締結した。							7.2						13				
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・メーカーとともに天然資源の持続的利・活用に配慮、調達に取り組んでいる。また、非合法材を使用しないことを確認している。													12.2	13	14	15	
製品・サービス	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・行動規範・コンプライアンス規定・懲戒規定などを整備、社内浸透を図るとともに非違事案は厳正に対処している。																16	16.5
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。																	16
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理を強化している。									8.2	8.3	9						
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に対する基本方針」を定め公表体制を整備している。社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底、顧客データー管理も厳正に行っている。																	16
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している																	16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・サプライチェーン上のリスク管理を徹底している。						5		8		10		12	13	14	15	16	17
	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・各部門が連携、製品やサービスの安全性確保対策を強化している。例：納車時の「安全留意事項説明」と確認署名の受領。		3.9											12.4				
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・品質の良い物、満足頂けるサービス提供に努めているほか、クレーム対応など品質保証の万全な仕組みを構築し適切に対応している。									9								
	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・メーカーとともに「トータルクリーン」を基本理念に環境に配慮した車の提供・サービスに努めている。例：ハイブリッドカー燃料消費改善・CO2排出低減など温暖化防止対策、排出ガス規制、環境負荷物質削減、リサイクル性向上など。						6						12	13	14	15		
	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・新型コロナウィルス感染症患者の搬送用に改造した車両を無償で貸与中（長野市・松本市）、そして、店舗でも販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32 社会貢献・ 33 34	□ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・ユーフループの各社・各店舗は、地域との関わり(地域共働活動)を大切に、影響把握と改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
	□ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地方公共団体・公益法人・福祉団体への寄付を重ね社会貢献(例、タイガーマスク基金等)。緑化事業・環境保全ボランティア等社会貢献(例、「森林(もり)の里親制度等)。				4							11		14	15		17	
	□ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・県「鳥獣対策・ジビエ振興事業」に参画、県・長野市と連携、「ジビエカー」「ジビエジュニア」を開発・提供、地域資源活用と社会貢献活動を実施。									8	9	11	12	13				
35 組織体制 36 37 38 39 40 41 42	□ 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化、グループHPに公表している。・経営者及び幹部が理念・経営目標を協議共有し、社員に適時適切に教養し実践させている。									8	9							17
	□ 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・朝礼・責任者会議や社内報・掲示板等で法令順守(コンプライアンス)重要性を全社員に発信。																16	
	□ 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者(担当役員)及び管理者を任命している。																16	
	□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・各種会議に参加、適宜、利害関係者との対話により関係・影響を把握、自社活動での適切な対応に努めている。															16	17	
	□ 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスク担当部門と現場が連携、基本手順によるリスクの洗出し評価を行い、適切な対策を講じている。																16	
	□ 【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・責任者出席の会議等を通じCSR(企業の社会的責任)理念を共有、各種事業戦略や営業対応に反映させ、責任ある対応に努めている。																16	
	□ 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画(PCBキット)を策定している。定期的な見直しと訓練を実施する。・台風19号災害に伴い安否確認・事業継続確認など適切に対応できた。										9		11	13	13.1			16
	□ 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・「モビリティ・カンパニー」変革に向け登用・人材育成に努めている。									8	9							17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
○交通事故死傷者ゼロ社会をめざし、高齢者事故防止支援施策の強化。	・先進安全機能車の普及啓発を強化。			3	4				8	9	11	12					16	17
○トヨタリグループが『モビリティ・カンパニー』変革にチャレンジ⇒車社会は大きく変貌、今、グループ一丸となって「モビリティカンパニー」への変革が強く求められる。	・「モビリティーカンパニー」への変革は、お客様へのサービス・利便性向上とともに、新たなニーズ「モビリティサービス」取組みに機構改革など組織一丸となってチャレンジする。カーシェア事業への展開、チョイソコ事業への展開など支援も行っている。			3					8	9	10	11	12					17
○従業員が笑顔で働く職場環境づくり、地域社会との共創⇒「トヨタリグループ」の人材基盤を強固にするため、従業員が生き生きと安心して働く環境づくりを整えている。人間性尊重経営の具現化、労使「相互信頼・相互責任」のもと仕事に励んでいる。また、県内各地の店舗・事業所では地域の皆さんと密着した地域共働活動などに努めている。	・「働き方改革」と「勤務見直し」を推進中。トヨタリグループCSR方針(持続可能な発展への貢献)の下、社員の安全と健康の確保を最重点。各店舗は地域共働活動に積極的に取組んでいる。			3					8		11	12						17

#### 【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)